



第1回運営委員会、開催

～ 臨時総会に向けて ～

柘植地域 まちづくりだより 第234号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日
二〇一九(令和元)年五月一日(水)



4月19日(金)夜、今年度最初の運営委員会が市民センターで開かれました。昨年度の決算報告に続き、新体制下の対外的な役割の確認や臨時総会に向けた新役員の選考、今年度の運営の方向性について協議し確認しました。役割等、詳細については臨時総会(4月27日)を経て、次号で報告します。

最近の多忙社会の下、会議を重ね議論することが重要であると認識しつつもボランティア精神に基づく活動では時間確保の難しい状況があります。

今後、限られた時間で区(第2層)を越えて取り組むまちづくり協議会(第3層)の運営をどう改善していくかは、根本的な問題として横たわっています。

まずは現状を的確に分析し各区でできること、区を越えて取り組むべきこと、行政(第4・5層)とともに行うことなどを整理し、それぞれの持ち場の特性を理解しあいながら、総体として「柘植地域」が住みよいまちとなることを願いたいものです。

11/3

トレランで、世界に向けて、伊賀、そして「柘植」を味わってもらおう!



4月17日(水)夜、市役所本庁にて、第1回忍者トレイルランニングレース2019実行委員会が開かれました。

昨年大会の事業・決算報告の後に、今年度大会の計画について事務局から説明がありました。これからの人口減少社会で、伊賀ならではの特性を活かし、スポーツ文化、山林環境などの向上と世代を越え地域をまたいだ「つながり・交流」の促進が望まれています。(4頁に続く)

柘植地域俳句コーナー
青葉風
忍者体操
腰伸ばす
中西はせを

人権地区懇談会柘植地域会議

人権啓発合同事業実行委員会



4月16日(火)夜、市民センターで各区の区長ならびに地区懇談会担当者が集まり、伊賀支所が主となって進める「いがまち人権・同和問題地区別懇談会推進事業」の説明ならびに、まち協が12区合同で行う人権啓発合同事業についての話し合いをしました。

伊賀支所の前川一幸振興課課長のあいさつに続き、担当者より事業の内容や進め方、委託料の扱いなどについて説明がありました。

Q 何をすればよいのですか？
 A 各区事情に合わせた計画の下、昨年に続き、部落差別事例に関する内容を含み、地域住民相互の意見交換等の場を設けることをお願いします。
 (説明資料より。一部略・改)

今後、各区が主体となって地区懇談会を開催していくこととなります。また、まち協の人権啓発合同事業では、区をまたいだ合同事業として、「人権映画会」や「フィールドワーク」等が計画されています。



2019年度上半期主な行事など

5	18 土	まち協合同事業 (近隣フィールドワーク)
	24 金	いがまち同和教育研究会総会
6	22 土	いきいき未来いが2019
	6/22~6/29 男女共同参画週間	
6月頃 まち協合同事業 (人権映画上映)		
7	5 金	第1回解放講座
	7/8~7/14 いがまち差別をなくす強調週間	
8	23 火	地区別懇談会リーダー研修会
	17 土	いがまち人権・同和研究大会
	24 土	男女共同参画連携映画祭
9	27 火	地区別懇談会リーダー研修会
	13 金	第2回解放講座
	24 火	地区別懇談会リーダー研修会
10	30 水	地区懇談会柘植地域会議 (中間報告)

会議で伝えられたいくつかの事業(9月まで)を次に紹介します。詳細は各区の地区懇談会担当者にお尋ね下さい。

◆情報◆
 今年は、「人権文化を確かなものに」と題して、11月30日(土)と12月1日(日)に全国人権教育研究大会が三重県津市で開催されます。

みんなで協力して、安全安心のまちをつくらう

交通安全・防犯・不法投棄対策は、区をまたいで考えていくものです。今年、交通安全協会・防犯協会・各区ならびに伊賀警察等が協力して、月に一回のパトロールを実施します。

活動主体を公安委員会とし、毎月12区連絡協議会の冒頭に、関係者を含めた会議を開催していきます。また、毎月各区割当てパトロールをします。

今年度、第1回のパトロールは4月15日(月)の夕方に行いました。岡鼻区が担当区として、一ツ家から大杣湖周辺などに力点を置きパトロールしました。

公安活動に興味関心のある方、また不法投棄等が発見されましたら各区やまち協まで連絡して下さい。



「日本遺産」って

ご存知ですか？

平成29年に、「伊賀忍者」「甲賀忍者」が「日本遺産」に認定されました。そしていま、忍者関連史跡を周遊・誘導、説明するための看板整備が進められているってご存知でしたか？

柘植地域では、山出区の福地城跡(芭蕉公園)と上町区の徳永寺が忍者の歴史を物語る歴史遺産として位置付けられ、現地へ至るための道標、誘導看板及び説明看板が設置されました。

「日本遺産」は文化庁が進める事業で、日本の文化や伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、地域にある魅力的な歴史遺産の活用を通じて、観光振興や地域活性化に役立つようとするものです。



日本遺産「忍びの里伊賀・甲賀」へアクセスしよう！



忍者を活かした観光振興のため「忍びの里 伊賀甲賀忍者協議会」が組織されています。

なお中世の山城である福地城跡(芭蕉公園)は、三重県下でも代表的な整った山城として有名です。現在は本丸跡を芭蕉公園として整備しており、この区域一帯には、歴史・文化遺産が多く残されていることから、近年、史跡めぐりや俳人の吟行など、福地城跡(芭蕉公園)を訪れる人々が増えています。

また、天正10年(1582)の本能寺の変後、「神君伊賀越」で家康が立ち寄った徳永寺も多くの人が訪れています。

地元の私たちも、地域の宝をまずは体感してみたいものです。そして、他地域の人に説明できるくらいになれば楽しいのではないのでしょうか？



連休に

行ってみませんか

「顔出しパネル」もあります。



徳永寺



福地城跡

今年、満開の桜の下で...

4月14日(日)、霊山寺周辺で第31回の霊山桜まつりが開催(主催:霊山保障会、共催:西柘植地域まちづくり協議会)されました。



今年、はちようど満開の時期となりました。霊山保障会の一員として毎年上村区が出品していますが、今年も恒例のバナナ販売が好調でした。



菜の花プロジェクト

伊賀市農林振興課の進めるプロジェクトに、生活環境部会「環境保全事業」として、景観美化に取り組みんでいます。次の春にはいっしょに取り組みませんか?



トレイルランニング大会コンセプト(ホームページより引用)

11/3

本気で遊べ。本気で楽しめ。



大会特徴

- 1. かつての忍者修行を体験できるコース
2. 山と集落を結ぶ「旅気分」を味わえるコース
3. 地域の人々による温かいおもてなし
4. 環境に優しいエコな大会(紙コップは使わないなど)
5. 順位やタイムより楽しむことを大切にするレース

1面記事も参照してください



QRコードでアクセス
トレランの魅力満載
ホームページを
見てみましょう!

柘植地域はロング部門のルートにあたります。柘植地区市民センターと奥余野公園駐車場がエイドステーションになります。総距離が48km、累積標高は2360mあるそうです。

エントリーは450名。エントリー期間は2019年4月26日(日)9:00~9月30日(月)23:59まで(先着順、定員に到達次第終了)です。11月3日に向けて、コース誘導や応援その他の地元ボランティアを募集します。昨年は40名以上の方が協力して、参加者の方々をおもてなしし地域をPRしました。

★★事務局だより★★

今号から『まちづくりだより』発行日の元号表記を「令和」に変更しました。天皇の退位・即位の関連で、これまで経験のない10連休となりましたが、みなさんのご予定は如何? さて、第32回のつつじ祭が5月12日(日)に行われます。今年、はさくらに続きつつじも満開の時期と重なることを願いたいものです。▼なお、まち協としてこれまで取り組んできました「黒豆あんまき」の販売は行いません。ご期待していただいた方には何卒ご容赦いただきますようお願いいたします。一方、柘植の歴史文化の一つ「斎王」や11月3日予定の「トレイルランニングレース」、来年2月19日の「柘植駅130周年」に関するこの紹介コーナーを用意する予定です。▼下記QRコードを読み取れば、ステーションログラムやお店の配置図、バス時刻表の載ったチラシをご覧いただけます。ぜひご利用ください。▼『まちづくりだより』では、各区の取り組みを次号以降で特集する予定です(この期待)。▼元号が「平成」から「令和」になるといふ記憶に残る節目の今年。将来、今年のことほどのように語られることになるのでしょうか?ともあれ少しでもいい思い出を刻んでおきたいものです。▼日本社会は「頂点まで上り詰めたシエッタコースター」が今まさに下り始めた時期、だと言われます。人口減少、負担増など将来不安の大きい時代に、区やまちづくり協議会が何をすべきなのか、5月25日の定期総会をきっかけに考えていきたいものです。(西田方計)

